

IBM

@server

iSeries 270、810、820 または 825

取り外し可能媒体装置の手引き

バージョン 5





@server

iSeries 270、810、820 または 825

取り外し可能媒体装置の手引き

バージョン 5

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

第 1 章 iSeries 270、810、または 820 への取り外し可能媒体のインストール

iSeries サーバーに取り外し可能媒体をインストールすることができます。ハードウェアのインストールには、約 1 時間かかりますが、ユーザー自身で行わない場合、このフィーチャーのインストール作業を IBM® または IBM 特約店に有料で依頼することもできます。

ユーザーのジョブを完了し、システムのバックアップを取り、システムを IPL して、ハードウェア構成を検査するために時間がさらに必要になります。

この手順では、以下の作業を行います。

- システム装置の電源を遮断する。
- システム装置カバーを取り外す。
- 新しいハードウェアを取り付ける。
- カバーを取り付ける。
- オペレーティング・システムを IPL する。
- 新しいハードウェア構成を検査する。

インストール作業を始める前に次の作業を行います。

- __ 1. オペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムの最新バックアップが手元にあることを確認します。PTF を最後に適用した後でオペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムのバックアップをとっていれば、そのバックアップでかまいません。
- __ 2. 手順全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- __ 3. 部品が正しくなかったり、欠落している、あるいは外観上損傷がある場合には、以下にご連絡ください。
 - IBM 特約店
 - IBM 営業担当員
 - 1-800-300-8751 (米国)
 - 1-507-253-5242 (全世界共通)
- __ 4. 論理区画に新しいハードウェアをインストールする場合は、それを正常に行うための要件を計画および理解する必要があります。Information Center の『論理区分』を参照してください。その後、ここの指示を参照してください。
- __ 5. 新しいフィーチャーをインストールする前に、PTF 前提条件があるかどうかを確認してください。次の Web サイトにアクセスします。

<http://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/10000051>

 - a. 「**All Documents**」を選択します。
 - b. 「**Collapse**」を選択します。
 - c. 「**General Information**」を選択します。
 - d. 「**Offerings**」を選択します。


- e. 「**Feature Prerequisites**」を選択します。
- f. 「**Customer Install Features Prerequisites**」を選択します。
- g. この製品のフィーチャー番号と OS/400® リリースを見つけて、前提条件を調べます。

本書にある図は、ご使用になるサーバーと多少異なる場合があります。ただし、作業を実行する手順は同じです。

準備

- __ 1. ご使用のシステム装置は iSeries 825 ですか?
 - __ **いいえ:** 次のステップに進みます。
 - __ **はい:** 9 ページの『第 2 章 iSeries 825 への取り外し可能媒体のインストール』に進みます。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了していたら、コマンド行に `pwrdownsys *immed` と入力してシステムを遮断し、実行キーを押します。

注: インストール中に不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。

- __ 4. iSeries の電源が完全に遮断されたら、すべての PC をシステム装置から外します。システム装置に接続されているすべての装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- __ 5. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- __ 6. システム装置の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- __ 7. 装置カバーを取り外します。 21 ページの『装置カバー』を参照してください。
- __ 8. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。

注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。 2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
- b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。

取り外し可能媒体のインストール

- ___ 1. 既存の取り外し媒体装置を交換しますか ?
 - ___ はい: 次のステップに進みます。
 - ___ いいえ: ステップ 6 に進みます。
- ___ 2. 装置の背面から、信号ケーブル (大きいコネクタ) と電源ケーブル (小さいコネクタ) を抜きます。
- ___ 3. システム装置のフレームにその装置を固定している 2 つの青いラッチを、止まるまで前に引きます。
- ___ 4. 装置を前にスライドさせて、システム装置から取り出します。制御パネルの上の充電ブランクを取り外さなければならない場合があります。
- ___ 5. ステップ 7 に進みます。
- ___ 6. システム装置からブランクを取り外します。
- ___ 7. 新しい取り外し可能媒体が入っているパッケージを用意して、パッケージから取り出します。
- ___ 8. インストールする装置は光ディスク装置ですか ?
 - ___ はい: 次のステップに進みます。
 - ___ いいえ: ステップ 10 に進みます。
- ___ 9. 下記の例を参照して、次の手順で光ディスク装置アドレス・ジャンパーを設定してください。
 - ___ a. ジャンパーを第 1 のピン・セットに置きます。
 - ___ b. ジャンパーを第 4 のピン・セットに置きます。

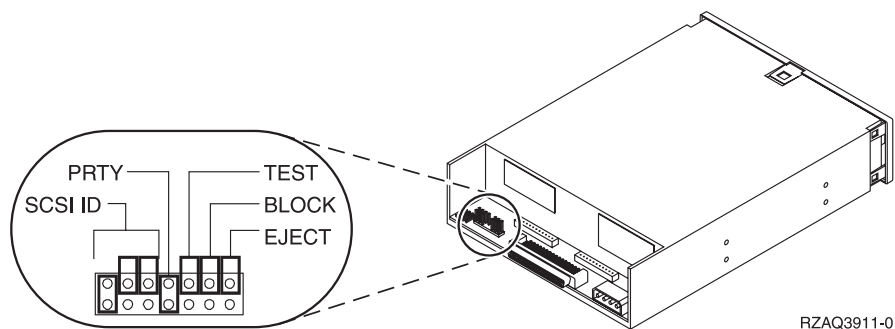
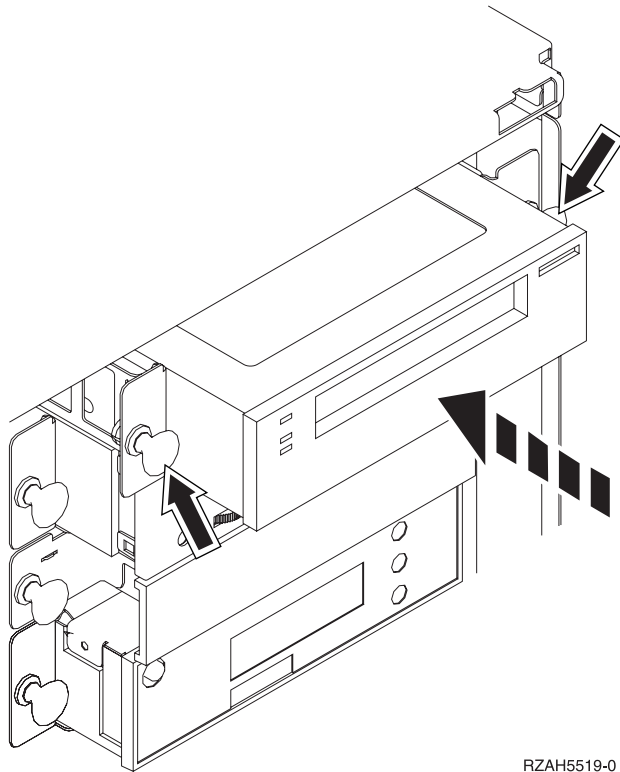


図 1. 光ディスク装置ジャンパーの位置

- ___ 10. システム装置の前面に装置の位置を合わせてスライドさせ (4 ページの図 2)、装置がシステム装置のフレームと同じ高さになるまで押し込みます。
- ___ 11. 青いラッチを押し入れ、装置をシステム装置に固定します。
- ___ 12. 磁気テープ機構の背面にある小さい方のコネクタに、電源ケーブルを接続します。
- ___ 13. 既存の取り外し可能媒体装置を取り替えない場合は、ケーブルの端のテープを取り除く必要があります。
- ___ 14. 磁気テープ機構の背面にある大きい方のコネクタに、信号ケーブルを接続します。



RZAH5519-0

図2. 取り外し可能媒体のインストール

- __ 15. インストールする取り外し可能媒体装置が他にありますか？
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: ステップ 1 (3 ページ) ~ 14 (3 ページ) を繰り返します。
- __ 16. インストールするアダプター・カードまたは機構がまだ他にありますか？
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: インストールする機構 (たとえば、ディスク機構、アダプター・カード、または記憶機構カード) がまだ他にもある場合は、その機構に付属している説明書を参照してください。
- __ 17. 『インストールの完了』に進みます。

インストールの完了

- __ 1. システム装置の側面カバーの上端と下端にあるタブの位置を合わせて、システム装置の側面カバーを取り付けます。タブがすべて穴に入るようにして前方に押します。システム装置の前方に向かって止まるまでカバーをスライドさせ、ねじを締めます。
- __ 2. システム装置のカバーを取り付けます。

__ 3.

危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

以下の電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

- システム装置
- システム装置コンソール

- __ 4. すべての接続装置（印刷装置や表示装置など）のプラグを差し込み、電源をオンにします。
- __ 5. 装置は 270 または 810 または 820 のどれですか？
- __ 270 または 810: 次のステップに進みます。
- __ 820: ステップ 8 に進みます。
- __ 6. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- __ 7. 「機能/データ」画面に **01 B N V=S** と表示されていますか？
- __ はい: ステップ 10 (6 ページ) に進みます。
- __ いいえ: 以下の作業を行います。
- __ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ b. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ d. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ e. 「機能/データ」画面に **N** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ f. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ h. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」画面に **01 B N S** と表示されるはずですが。表示されない場合は、ステップ 7a ~ 7i を繰り返します。
- __ k. ステップ 10 (6 ページ) に進みます。
- __ 8. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- __ 9. 「機能/データ」表示パネルに、通常標識 (**OK**) が点灯して **01 B V=S** が表示されましたか？
- __ はい: 次のステップに進みます。

- ___ いいえ: 以下の作業を行います。
 - ___ a. 手動モード標識 (小さい手のマーク) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - ___ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - ___ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - ___ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - ___ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - ___ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - ___ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - ___ h. 正常標識 (**OK**) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - ___ i. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - ___ j. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - ___ k. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」表示パネルに正常標識 (**OK**) が点灯して、**01 B S** が表示されましたか? このように表示されない場合は、ステップ 9a ~ 9j を繰り返します。
 - ___ l. ステップ 10 に進みます。
- ___ 10. コンソールであるワークステーションまたは PC の電源をオンにします。
- ___ 11. システム装置の「電源」押しボタンを押します。「電源オン」ライトが点灯します。

注: 「電源オン」ライトがオンになるまでに約 10 秒かかります。システムに電源を入れてから IPL が完了するまでは、約 5 ~ 20 分かかります。
- ___ 12. システム装置にサインオンします。保守権限をもっているか確認してください。
- ___ 13. 次の手順で、インストールした取り外し可能媒体装置を確認します。
 - ___ a. 保守権限を使用してサインオンしている必要があります。
 - ___ b. 「メインメニュー」のコマンド行で、**strsst** と入力します。
実行キーを押します。
 - ___ c. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。
実行キーを押します。
 - ___ d. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「**保守ツールの開始**」を選択します。
実行キーを押します。
 - ___ e. 「**保守ツールの開始**」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択します。

実行キーを押します。

- __ f. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、F6 (構成の印刷) を押します。
- __ g. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...) の選択」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- __ h. 「パッケージ・ハードウェア資源」画面で、システム装置の隣にある *Opt* 欄に **9** (パッケージに含まれているハードウェア) を入力します。

実行キーを押します。

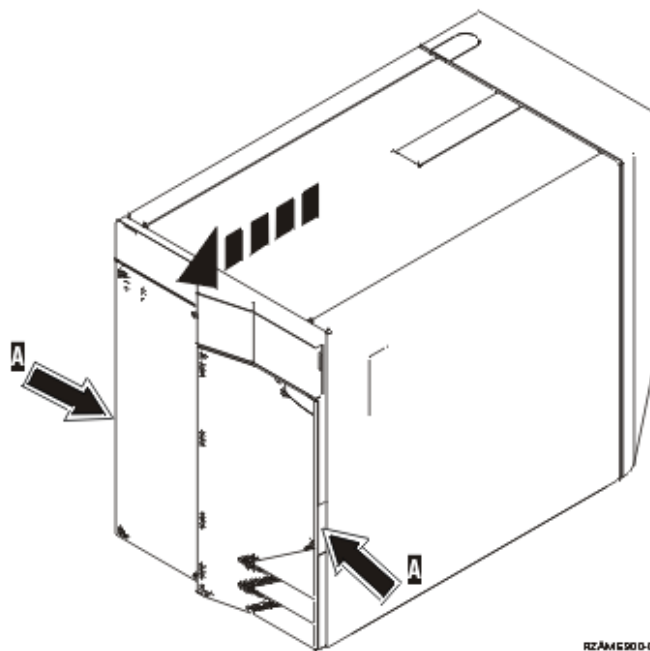
- __ i. インストールした取り外し可能媒体装置が表示されるまで、上下にスクロールします。
 - __ j. 「メインメニュー」に戻るために、F3 (終了) を 2 回押してから、実行キーを押します。
 - __ k. 構成リストは、後で参照できる場所に保管しておきます。
- __ 14. 取り外し可能媒体装置を作動可能にする方法については、*Information Center* の『記憶機構での作業』を参照してください。
- __ 15. これでフィーチャーのインストールは完了です。


第 2 章 iSeries 825 への取り外し可能媒体のインストール

この手順では、825 装置に取り外し可能媒体装置をインストールするために必要なステップについて説明します。これにより、取り外し可能媒体装置を並行インストールするか、それとも電源遮断して取り外し可能媒体装置をインストールするかをユーザーが決める一助となるはずです。並行インストールの場合は、拡張タワーを電源遮断することはできません。

インストール中に不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。

- __ 1. フィーチャー・コード 5306 (並行) 取り外し可能媒体バックプレーンをインストールしますか？
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: 17 ページの『第 3 章 並行取り外し可能媒体バックプレーンのインストール』に進みます。
- __ 2. システム装置の電源はオフになっていますか？
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: ステップ 4 (13 ページ) に進みます。
- __ 3. 前面カバーを取り外します。



- __ 4. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。 フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。


注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
 - c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- __ 5. 始める前に、『並行手順 (システム装置の電源がオン)』のステップの複雑さを理解しておく必要があります。並行手順が使いにくい場合は、13 ページの『非並行手順 (システム装置の電源がオフ)』に進んでください。

並行手順 (システム装置の電源がオン)

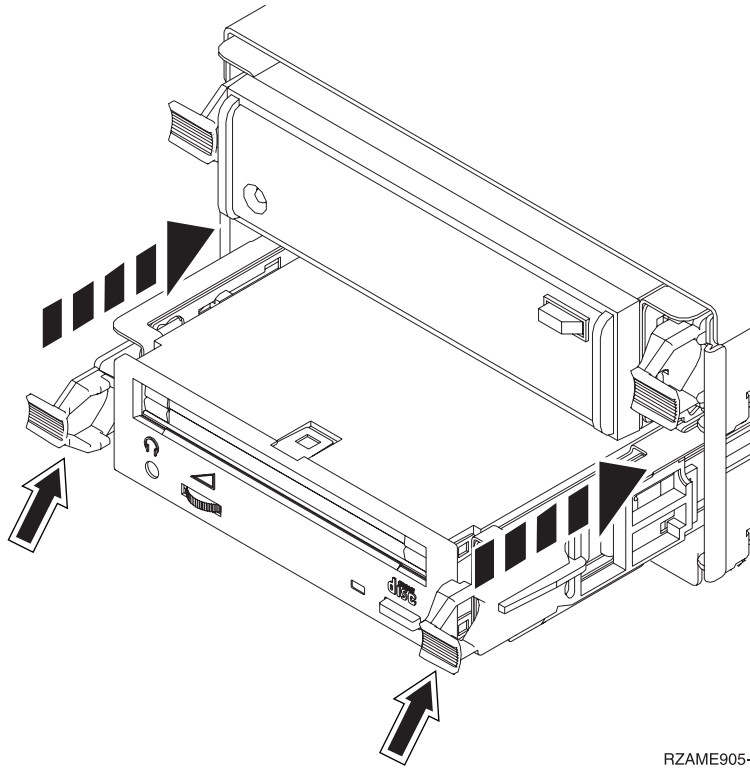
以下の手順で並行インストールを実行します。

重要: この手順に従わなければ、新しい取り外し可能媒体装置またはシステム装置を損傷し、データが失われる恐れがあります。

- __ 1. まだ**保守権限**でサインオンしていなければ、サインオンします。
- __ 2. iSeries コマンド行で、**strsst** と入力します。実行キーを押します。
- __ 3. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。実行キーを押します。
- __ 4. 「システム保守ツール (SST)」画面が表示されたら、「**保守ツールの開始**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 5. 「**保守ツールの開始**」メニューが表示されたら、「**ハードウェア保守管理機能**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 6. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面で、「**装置並行保守**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 7. 「**物理装置または資源名を指定してください**」フィールドに次のものを入力します。
 - a. フレーム ID 用の番号 1。
 - b. 物理位置 (D17 は上位で D18 は下位です)。
- __ 8. 新規装置を取り付けようとしている位置から、取り外し可能媒体装置のベゼルを引き抜きます。
- __ 9. **重要:** 取り外し可能媒体装置は壊れやすいので、注意して取り扱ってください。
静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。

注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
 - c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- __ 10. 新しい取り外し可能媒体装置アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。
 - __ 11. 取り外し可能媒体装置を拡張タワーに導入する前に、ハンドルを手前に引き出します。
 - __ 12. テープ装置の場合は青いボタンが右上になるように、CD-ROM の場合はボタンが右下になるようにして、装置を持ちます。
 - __ 13. 12 ページの図 3 を参照し、取り外し可能媒体装置の底部を支えて、選択された位置に半分だけスライドさせて入れます。それ以上は押さないでください。
 - __ 14. 「処置を指定してください」フィールドで、「装置の導入」オプションを選択します。
 - __ 15. 「時間値 (00-19) を入力してください」フィールドで、**01** (1 分) と入力します。
 - __ 16. 実行キーを押します。
- 注:** 取り外し可能媒体装置の右側のライトを見てください。ライトがオンになり、速く明滅し始めたら、9 秒間のうちに取り外し可能媒体装置を正しい位置にスライドさせて入れます。
- __ 17. ライトが明滅を始めたら、取り外し可能媒体装置が正しく収まるまでスライドさせて入れます。両側のハンドルを同時に押し、取り外し可能媒体装置を正しい場所にロックします。






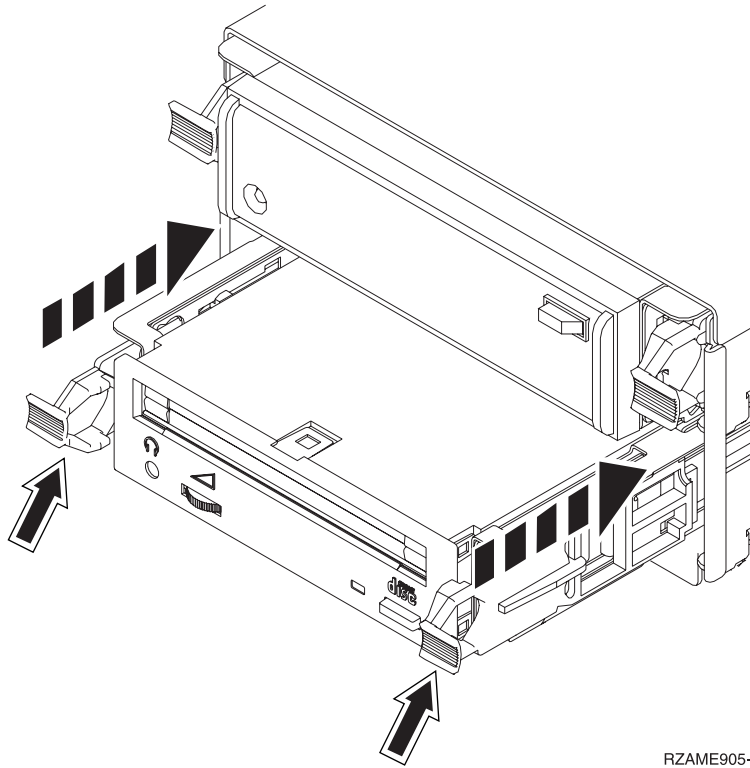
RZAME905-0

図3. 取り外し可能媒体装置の取り付け

- __ 18. 取り外し可能媒体装置が正しく設置できると、緑のライトが明滅を停止し、オンのままになります。
- __ 19. コンソールに戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるまで待ちます。実行キーを押します。
- __ 20. 「ハードウェア保守管理機能」メニューが表示されたら、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)」オプションを選択します。実行キーを押します。
- __ 21. 「パッケージ・ハードウェア資源」メニューにおいて、取り外し可能媒体装置を備えた機構の隣にある *Opt* 欄に **9** を入力します。実行キーを押します。
- __ 22. 記述 および装置タイプ - 型式 が、新しい取り外し可能媒体装置が取り付けられた位置とともに表示されます。
- __ 23. **F3** を 1 回押して「ハードウェア保守管理機能」画面に戻ります。
- __ 24. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、印刷装置がある場合は **F6** を押して構成リストを印刷します。ユーザー自身またはサービス技術員が、後で構成リストを参照することがあります。
- __ 25. 前面カバーを取り付けます。
- __ 26. **F12** を 2 回押してから実行キーを押して、メイン・メニューに戻ります。
- __ 27. これでフィーチャーのインストールは完了です。

非並行手順 (システム装置の電源がオフ)

- 1. システム装置に論理区画をインストールしている場合は、 *iSeries Information Center* を参照してください。論理区画を持つシステムの電源遮断に関する説明は、 *iSeries Information Center* の『論理区画の管理』に進みます。
- 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- 3. すべてのジョブが完了したら `pwrdownsys *immed` を入力します。実行キーを押します。
- 4. *iSeries* の電源遮断が完了したら、すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- 5. システム装置の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- 6. 拡張タワーの電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- 7. 前面カバーを取り外します。
- 8. **重要:** 取り外し可能媒体装置は壊れやすいので、注意して取り扱ってください。
静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。 フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。
注:
 - a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。 2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
 - c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- 9. 新規装置を取り付けようとしている位置から、取り外し可能媒体装置のベゼルを引き抜きます。  ビデオをご覧ください。
- 10. 新しい装置が入っているパッケージを見つけ、静電気保護パッケージから取り出します。
- 11. 装置をまっすぐに持ち、両側のハンドルを手前に引きまします。
- 12. テープ装置の場合は青いボタンが右上になるように、 CD-ROM の場合はボタンが右下になるようにして、装置を持ちます。ハンドルで装置を持たないでください。  ビデオをご覧ください。
- 13. 14 ページの図 4 を参照して、ベゼルを取り外した場所に装置を位置合わせします。
- 14. 取り外し可能媒体装置を止まるまでスライドさせて装置に入れます。
- 15. 両側のハンドルを同時に押し、取り外し可能媒体装置を正しい場所にロックします。



RZAME905-0

図4. 取り外し可能媒体装置の取り付け

- __ 16. 前面カバーを取り付けます。

⚠ 危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

- __ 17. システム装置とシステム装置コンソールのプラグを差し込みます。印刷装置や表示装置など、取り付け前にプラグを抜いた装置をすべて接続します。
- __ 18. すべての接続装置（印刷装置や表示装置など）の電源をオンにします。
- __ 19. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- __ 20. 「機能/データ」表示パネルに、通常標識 (OK) が点灯して **01 B V=S** が表示されましたか？
 - __ はい: 次のステップに進みます。
 - __ いいえ: 以下の作業を行います。
 - __ a. 手動標識 (小さい手) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - __ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

- __ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ h. 正常標識 (**OK**) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - __ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」表示パネルに正常標識 (**OK**) が点灯して、**01 B S** が表示されましたか? このように表示されない場合は、ステップ 20a (14 ページ) ~ 20j を繰り返します。
- __ 21. システムのコンソールであるワークステーションまたは PC の電源をオンにします。
- __ 22. 「電源」押しボタンを押して、システム装置の電源をオンにします。
- __ 23. システム装置にサインオンします。保守権限をもっているか確認してください。
- __ 24. 次の手順で取り外し可能媒体装置の構成を確認します。
- __ a. コマンド行で、**strsst** と入力します。実行キーを押します。
 - __ b. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。
 - __ c. 「システム保守ツール (SST)」画面が表示されたら、「**保守ツールの開始**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - __ d. 「**保守ツールの開始**」画面が表示されたら、「**ハードウェア保守管理機能**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - __ e. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面が表示されたら、「**パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)**」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - __ f. 「**パッケージ・ハードウェア資源**」画面において、取り外し可能媒体装置を備えた機構の隣にある *Opt* 欄に **9** を入力します。
 - __ g. **記述** および **装置タイプ - 型式** が、新しい取り外し可能媒体装置が取り付けられた位置とともに表示されます。
 - __ h. **F3** を 1 回押して「**ハードウェア保守管理機能**」画面に戻ります。
 - __ i. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面で、印刷装置がある場合は **F6** を押して構成リストを印刷します。ユーザー自身またはサービス技術員が、後で構成リストを参照することがあります。
 - __ j. **F12** を 2 回押してから実行キーを押して、メイン・メニューに戻ります。

__k. これでフィーチャーのアップグレードは完了です。

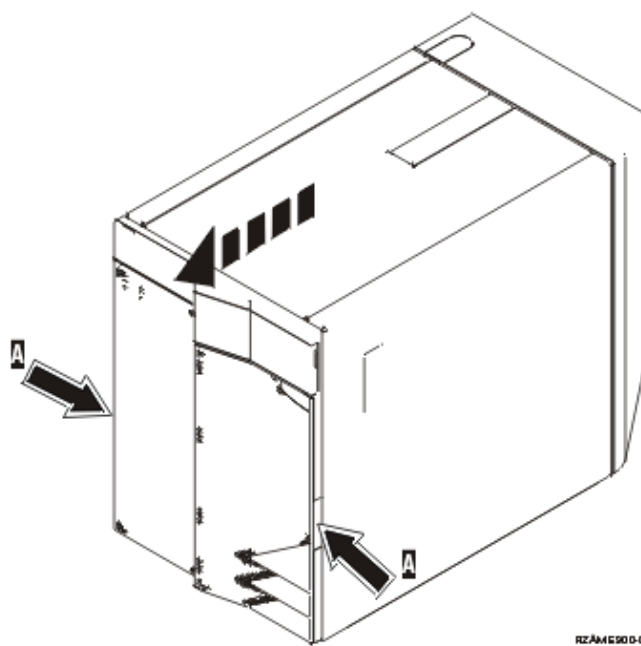
第 3 章 並行取り外し可能媒体バックプレーンのインストール


フィーチャー 5306 並行取り外し可能媒体バックプレーンをインストールします。

- 1. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- 2. すべてのジョブが完了していたら、コマンド行に `pwrdownsys *immed` と入力してシステムを遮断し、実行キーを押します。

注: インストール中に不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。

- 3. iSeries の電源が完全に遮断されたら、すべての PC をシステム装置から外します。システム装置に接続されているすべての装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- 4. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- 5. システム装置の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- 6. 前面カバーを取り外します。



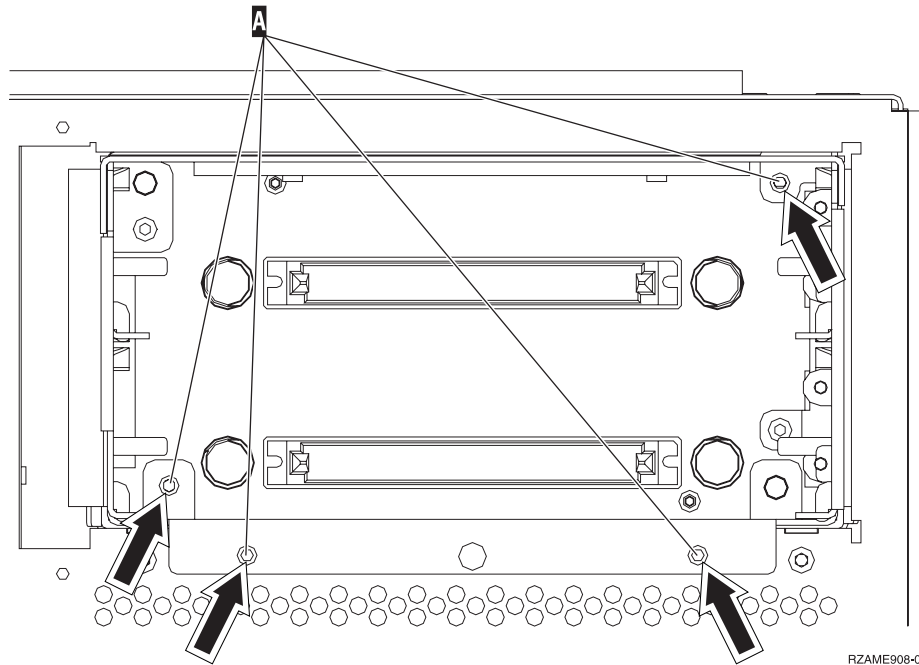
- 7. 静電気の放電により装置が損傷しないように、使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。 フォイルの接着部分を塗装されていない面に貼り付けます。

注:

- a. リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。 2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンド

を着用したからといって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

- b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
 - c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます (アース)。
- 8. 装置から媒体装置を取り外します。
 - 9. ねじ **A** を取り外します。



RZAME908-0

- 10. 取り外し可能媒体をゆっくりとシステムからスライドさせます。
- 11. 取り外し可能媒体格納装置の背面から、信号ケーブルと電源ケーブルを抜きます。
- 12. 新しい取り外し可能媒体が入っているパッケージを用意して、パッケージから取り出します。
- 13. ステップ 11 で抜いたケーブルを新しい取り外し可能媒体装置に接続します。
- 14. システム装置の前面に格納装置の位置を合わせてスライドさせます。
- 15. ステップ 9 のねじを元のとおりに取り付けます。
- 16. 取り外し可能媒体装置を、位置を合わせてスライドさせて取り付けます。両側のハンドルを同時に押し、媒体装置を正しい場所にロックします。

__ 17. 前面カバーを取り付けます。

危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

- __ 18. システム装置とシステム装置コンソールのプラグを差し込みます。印刷装置や表示装置など、取り付け前にプラグを抜いた装置をすべて接続します。
- __ 19. すべての接続装置（印刷装置や表示装置など）の電源をオンにします。
- __ 20. 制御パネルの「機能/データ」画面を見てください。
- __ 21. 「機能/データ」表示パネルに、通常標識 (OK) が点灯して **01 B V=S** が表示されましたか？
- __ はい: 次のステップに進みます。
 - __ いいえ: 以下の作業を行います。
 - __ a. 手動標識 (小さい手) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - __ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ c. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ e. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ g. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - __ h. 正常標識 (OK) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。
 - __ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
 - __ j. 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
「機能/データ」表示パネルに正常標識 (OK) が点灯して、**01 B S** が表示されましたか？ このように表示されない場合は、ステップ 21a ~ 21j を繰り返します。
- __ 22. システムのコンソールであるワークステーションまたは PC の電源をオンにします。
- __ 23. 「電源」押しボタンを押して、システム装置の電源をオンにします。
- __ 24. システム装置にサインオンします。保守権限を持っているか確認してください。
- __ 25. 次の手順で取り外し可能媒体装置の構成を確認します。
 - __ a. コマンド行で、**strsst** と入力します。実行キーを押します。

- __ b. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワードを入力します。
- __ c. 「システム保守ツール (SST)」画面が表示されたら、「保守ツールの開始」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ d. 「保守ツールの開始」画面が表示されたら、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ e. 「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたら、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム、フレーム、カード...)」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ f. 「パッケージ・ハードウェア資源」画面において、取り外し可能媒体装置を備えた機構の隣にある *Opt* 欄に **9** を入力します。
- __ g. 記述 および装置タイプ - 型式 が、新しい取り外し可能媒体装置が取り付けられた位置とともに表示されます。
- __ h. **F3** を 1 回押して「ハードウェア保守管理機能」画面に戻ります。
- __ i. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、印刷装置がある場合は **F6** を押して構成リストを印刷します。ユーザー自身またはサービス技術員が、後で構成リストを参照することがあります。
- __ j. **F12** を 2 回押してから実行キーを押して、メイン・メニューに戻ります。
- __ k. これでフィーチャーのアップグレードは完了です。

装置カバー

作業する装置の図を参照してください。

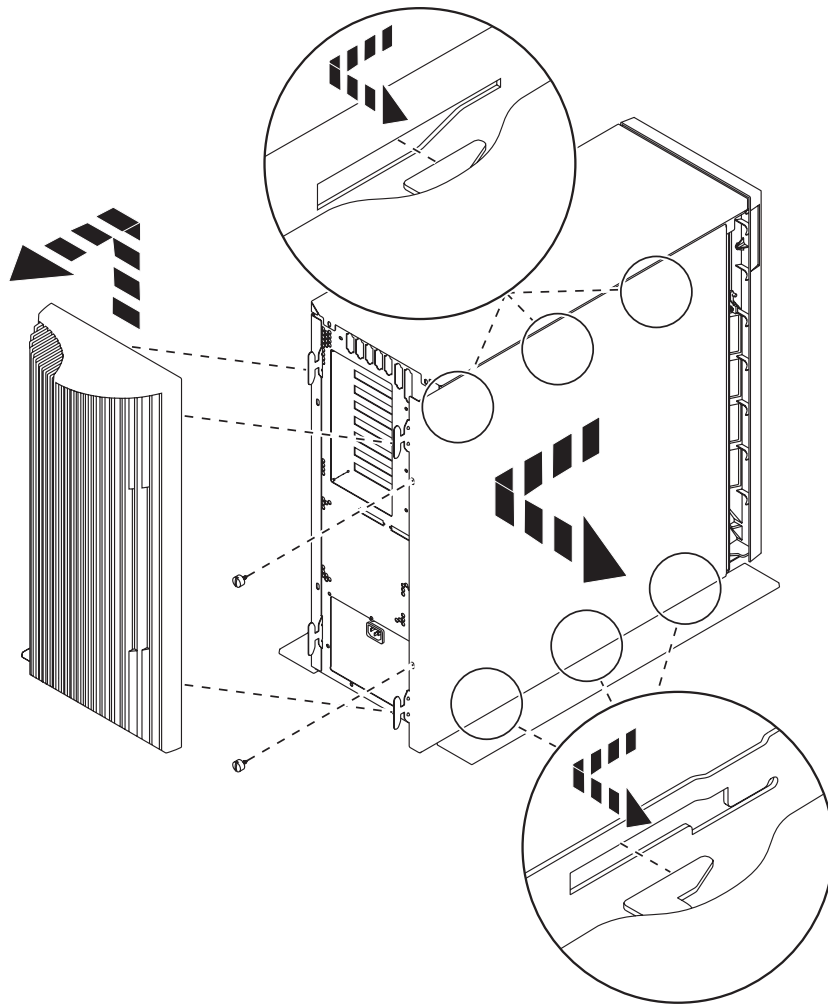
- 『270、810、および 820 システム装置』
- 24 ページの『ラック内の 270 または 810 装置』

270、810、および 820 システム装置

取り外し可能媒体位置にアクセスできるようにするには、カバーを取り外す必要があります。

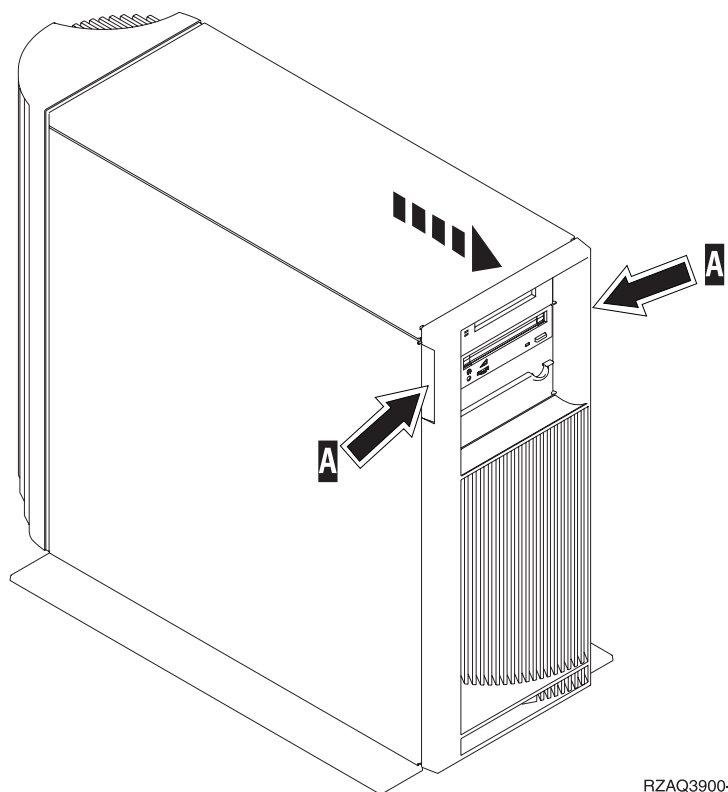
1. 背面カバーがある場合はその下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
2. **270 および 810 装置**— 右の側面カバーは、つまみねじを緩め、前から後ろへ止まるまでスライドさせて取り外します (後部側から見た図)。
820 装置— 左の側面カバーは、つまみねじを緩め、前から後ろへ止まるまでスライドさせて取り外します (後部側から見た図)。

__ 3. カバーを引き出します。



RZAQ2517-0

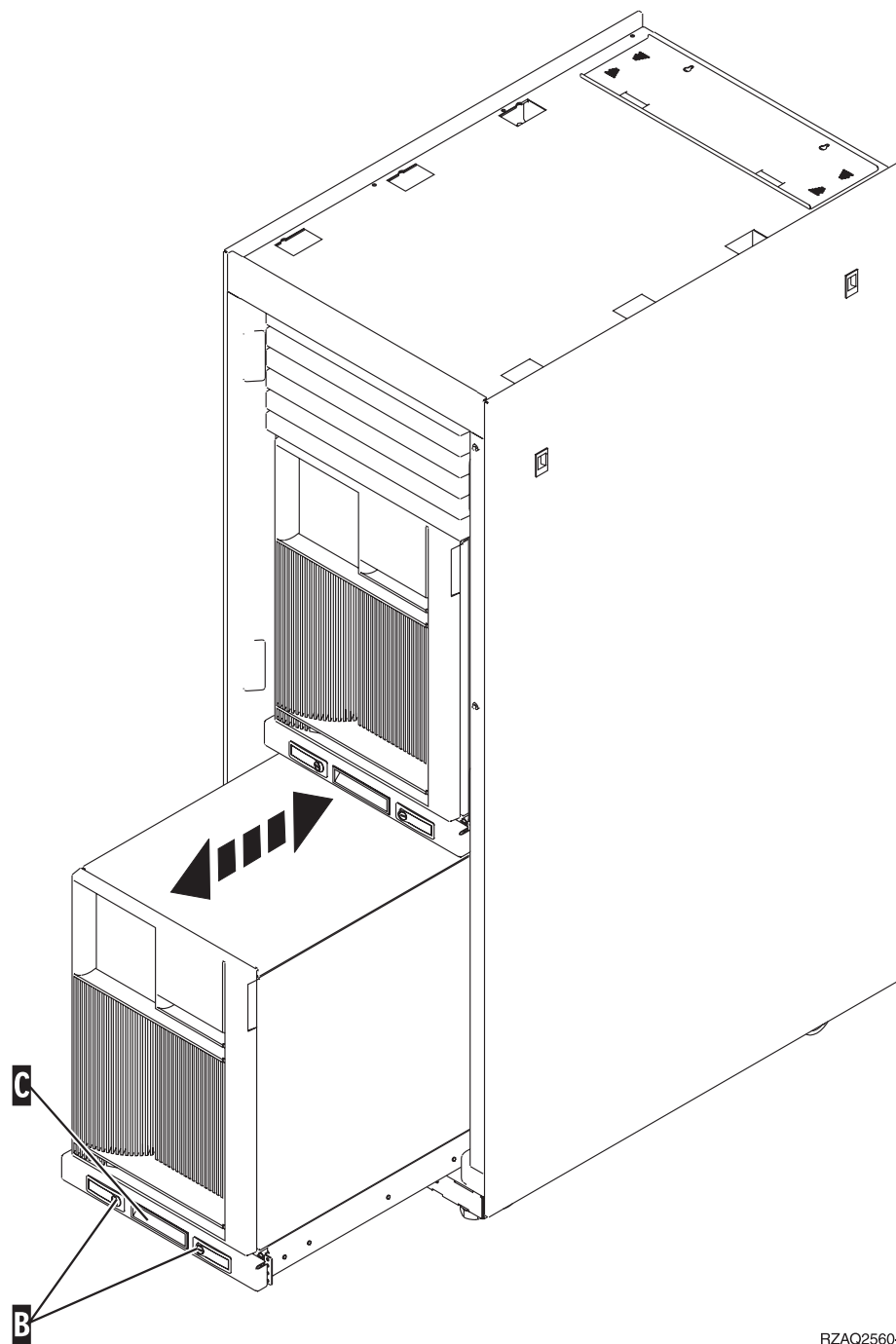
__ 4. 前面カバーを取り外します。



RZAQ3900-0

ラック内の 270 または 810 装置

1. ラッチ **B** を押して、ハンドル **C** を使ってサーバーを引き出します。



RZAQ2560-0

2. 前面カバーを取り外します。ステップ 4 (23 ページ) を参照してください。
3. 左側のカバー (前から見て) を取り外します。ステップ 3 (22 ページ) を参照してください。



Printed in Japan